日伯新聞

伯國聖市マエストロ・カルヂン街二(兄ロ・ヴエルゲイロ街)(二九八)
發行所 日伯新聞社
本紙定價 年六十ヘイス
外國郵稅共 百三十ヘイス

伯林—羅馬樞軸

伊太利は獨乙の味方 不動の國策線に邁進

ファシスト大評議會、重大決議

（ローマ廿二日同盟）ファシスト大評議會は二十一日午後十時ムソリーニ首相司會の下にベネチヤ宮で開會、前後三時間に亘りドイツの中歐制覇に伴ふ國際情勢の新動向に對處すべきイタリー政府の外交策につき重要協議を遂げたが、廿二日午前一時に至つて漸く閉會、同時にイタリー政府は飽迄ベルリン、ローマ樞軸に基いてその國策實現に邁進する旨のコムミユニケを發表した、コムミユニケ要旨は次の通り

ファシスト大評議會はドイツのチエツコスロバキア制覇並びにこれが國際政局に及ぼす影響につき前後三時間に亘つて協議を行つた結果、イタリー政府は今後共ベルリン・ローマ樞軸に基く政策を全的に堅持するに決定した、この際民主々義諸國はボルシエヴイズムと謬んで反獨戰線の結成に躍起となつてゐるが、これは平和の前兆ではなく戰爭の前兆である、最近の中歐に於ける諸事實はベルサイユ條約中に大半由來したものと考へられるなほイタリーの對佛植民地要求問題に關して大評議會で何等か討議が行はれたかは何等ふれてゐない

獨乙の旋風的行動 伊國民に一大衝撃

英佛側、逆宣傳に躍起

【ベルリン廿一日アベス】獨乙外務省はチエコ併合に對し日本、ハンガリ、スペイン・フランコ政府から早速祝電に接したが、伊太利政府からは未だ何らの挨拶なく國際消息通の間で不思議がられてゐる【ロンドン廿日アベス】タイムス紙ローマ特派員の報道によればイタリー國民は獨乙今回の行動には大衝撃を受けた模樣である、勿論イタリー新聞は伯林・羅馬樞軸強化の建前から之を傷つけるような言說は極力回避し、獨乙の國力增大は結局イタリーの爲だと論じてゐるが、イタリー國民は心の底ではこんなことを信用せず、獨乙ばかりが美味い汁を吸つてゐると感じてをり又いざイタリーがその要求を提出する時、果して獨乙がイタリーを援助するか、恐らく援助しても政治的精神的援助の範圍に止まるのではないかの樣である。

中歐制覇の余勢 獨メーメルを奪還

リトアニア軍既に引揚開始

【ロンドン廿一日廿】ロイテル支局カウナス來電によればリトアニア政府はドイツのメーメル併合の要求を承認し、同地駐屯のリトアニア軍は既に續々引揚げつゝあると【コブノ廿一日UP】リトアニア議會は廿一日臨時召集を行ひ、メーメル問題に就き討議を行つたが、議員中メーメル地方選出議員は缺席、結局ドイツのメーメル併合の要求を容認に決するものと見られる、政府はラヂオ放送により駐屯のリトアニア軍は既にメーメルは獨に合併される覺悟でゐるようにとの論調で國民の諦めを説んでゐる【メーメル（リトアニア）二十日發同盟】ドイツ政府は中歐制覇の餘勢を驅つてリトアニア政府に對しメーメルの獨立を要求してると傳へられてゐるが、リトアニア政府はメーメル問題急展開に對處するため二十一日臨時議會を召集對策を協議した、消息通の情報によればリトアニア政府ではドイツ政府の要求を受諾しメーメルを返還す

英國民熱狂的歡迎裡に 佛大統領倫敦入り

昨年英帝のパリ訪問に答禮

英國へ訪問の途についた、一行にはボンネ外相が隨行した

【ロンドン廿一日同盟】ルブラン佛大統領一行は廿一日午後二時五十九分英國官民の熱誠な歡迎裡にロンドンに到着した、驛頭には英帝ジョージ六世陛下並びにエリザベス皇后が出迎へさせられ、ルブラン大統領は英國皇帝皇后と共に直ちにバツキンガム宮に入つた

【パリー廿一日同盟】ルブラン佛大統領は昨年七月の英帝パリー御訪問に對應して夫人同伴廿一日朝パリー出發カレーより汽船コートダジユール號に搭乘

英國尻込の醜態・國際會議望み薄

今更立場に困るソ聯

【モスクワ廿一日同盟】國際會議上傾說が頓りに噂傳されてゐる折柄英國政府は廿一日ソヴエット政府に對し國際會議開催は時期尚早であるとしてこれに反對の意を表明した

英國政府は去る十八日ソヴエット政府に對し、ルーマニアが武力侵略的脅威に曝されるに至つた實情に鑑みこの侵略が行はれた場合ソヴエット政府はルーマニアに對し或る行動を開始するであらうと豫告してゐるがこれに對しソヴエット政府は英國、フランス、ポーランド、ルーマニア、トルコ、ソヴエット聯邦等の關係國にこの際國際會議並に事態の眞相を糺明すると共に、各國の立場を充分檢討することを適當と思惟する旨回答したが、英國政府はこれに對し時期尚早であるとしてこれを拒否したなほソヴエット政府は別にポーランド乃至ルーマニアから援助を求められた事實はなくこれ等兩國に對しても援助を申し出た事實はない

懍くルーマニア國境線に軍集中

當局、極力辯解に努む

【ブカレスト二十一日同盟】ルーマニア政府はドイツの進出を懼れ種々對策に苦慮してゐるが、二十一日隣邦の措置に對抗、國境警備の軍隊を增强した旨首相官房よりコムミユニケを左の如く發表したルーマニア政府は樞密院の決定に基き豫備兵數箇部隊を國境警備に增强した、但しこれらの部隊は國境線から若干距たる地點に屯し、侵略的軍事行動の擧措を目的とするもので、隣邦諸國が動員令を中止すればルーマニア政府も直ちにこれら部隊を引揚げ除隊せしめる方針である

裏面の策謀を喝破 老大英の急所突く

獨政府機關紙、堂々と反擊

【ベルリン二十日同盟】チエコ併合を續つて英獨兩國關係は急角度に惡化し來つたが、二十日のドイツ外務省機關紙外交通信は、英國最近の反獨態度を攻擊し左の如く述べてゐる

はれる、ドイツ政府のメーメル併合要求の覺書は廿一日リトアニア外相宛五日の期限付で送付され、若しリトアニアが武力侵略的威に曝された場合斷乎國境に兵力を集中武力に訴へるか、容認の場合リトアニア、ドイツ國境線は絶對に保障するとの態度を示した通牒といはれる

最近のチエンバレン首相を始め英國政治家の言辭は反獨的感情を露骨に示したものである、ドイツ政府は法律上の正當なチエコ政府の要請に基きドイツに干渉し耐へ難き事態の收拾調整を行つたに過ぎないのである、然るに英國は新聞や演說に於て公然反獨宣傳を開始して英國はルーマニアを使嗾して動員を行はしめんとし第二のベネシユ政策を實行させんとしたが、かゝる反獨策謀は正に犯罪行爲と見做すべきである、情報によれば、ドイツ政府は極力回避し、獨乙の國力增大は結局イタリーの爲だと論じてゐるが、イタリー國民

大陸國策を現地に視る

青年層の獲得 (二)

民衆の自發的協力に期待

すなはち、中支においては三民主義を包容する、より大いなる指導精神を確立し、これによつて支那の若きインテリに働きかけ舊國民黨員もまた東亞の新秩序建設に參加し得るやうに導くことが必要であるとしてゐる、しかしこれらの運動はいづれも武力によつて實現するものではなく自然に青年層から擡頭してくるのでなければ眞の効果を期待することは出來ない、したがつてその間の工作にいま少からぬ苦心が拂はれてゐる、この民衆指導の前衛に參加し得るやうに導くことが必要であるとしてゐる、

しかしこれらの運動はいづれも武力によつて實現するものではなく自然に青年層から擡頭してくるのでなければ眞の効果を期待することは出來ない、したがつてその間の工作にいま少からぬ苦心が拂はれてゐる、この民衆指導の前衛に參加し得るやうに導くことが必要であるとしてゐる、

組織化が計畫され、これにインテリーマン、商工業者、技術者、勞働者、農民を包含せしめようとしてゐる、從來合作社といへば農民を對象としてわがいい、産業組合の組織を大體模倣して來たものであるが、中支に於る合作社運動は産業組合とともにふべき青年インテリ層の組織化を中心としてさらに思想團體としての機能を發揮せしめ、新しい指導精神の下に合流せしめるやうに計畫されてゐる

また維新政府と支那民衆の意思疏通機關として大民會が組織され現に親日、反共の宣傳機關として發足せられてゐる、この團體は戰後上海を中心として生れた幾つかの反共、親日團體が幾月南京で結成されたものでその指導精神としてゐるところは從來の三民主義に缺けてゐた東洋道德を補ふために民德を實踐しこれによつて

東洋

民族の興隆に寄與せんとしてゐる、北支における新民會は臨時政府の指示の下に日本人が多數に參加してゐるが、大民會では日本人は僅かに數名にすぎず全く支那人中心で民衆の宣撫、宣傳に當つてゐる、なほこのほかに將來の問題として中支の都市農村の青年層を對象とし反共青年團の結成も急がれてゐる

また思想對策に關聯して宗教團體の動きを見ると大體中支における宗教はあまりにも小乘的であつて大乘的精神を忘れてゐる、これに呼びかけるものとしてわが各宗教團體は中支宗教大同聯盟を組織し上海に本據をおき內地よりの進出の足場とするとともに各宗派間の對立抗爭を解消せしめ一體となつて眠れる支那宗教の覺醒に役立たせるとゝもに將來回々教、喇嘛教にも働きかけ、これによつた東洋宗教大聯盟にまで發展せしめんとしてゐる、次ぎに文化建設工作の第二問題として教育が擧げられる、教育の點で最も著しい變革は從來支那の

學校

制度は基礎教育につぐ高等教育に關聯してゐたが維新政府ではこれをまづ根本的に改め支那の學校制度を日本の學校制度と結びつけるやうにした點である現在四年制初級、二年制高級の小學校すでに二千餘校五年制中等學校十餘校が設けられ、抗日から親日への再教育が行はれてゐるがさらに今春から三、四年制の綜合大學を開き理、農工科を中心として技術者を養成するとゝもに文科を設けて思想的に動搖しつゝある青年の再教育に着手せんとしてゐるたゞこゝに問題となつてゐるのは從來抗日教育の基となつてゐたミツシヨン・スクールの取扱ひであるがこれは將來立學校法を設けて嚴重に取締り文化建設への新方針に合流せしめることになつてゐる、また文化建設工作の一翼として現在軍および維新政府の手によつて博物館、圖書館の復興、標本室の整理も急ぎ建設されるべきであるが、また紫金山の天文台では明後年の日蝕に備へて準備するなど

文化

建設工作は着々として進められてゐる

建設工作に關する限りは大體つゝあるが文化建設工作においては日本はたゞ東亞の新秩序建設への指導精神を固持するのみでこれを根幹とする諸々の文化建設工作は一切支那の手に委ねられ兩國の間から自然と明日の東亞建設への希望と力が甦つて來るのを期待してゐるのである

日伯漫談

須田町人

こう何も彼もがグレハマにやしやうがねえ、おらあ一寸ブラジルへ行つて一儲けしてくるから、おめえ不自由でも少しの間我慢してな、なあに二三年すりゃ纏つた金を持つて直ぐ歸つてくるさ、ブラジルちゆう所は

珈琲の出來

るところだそうでエラク儲かるそうなから譯はないよ、こう云つた者でやつて來た人が昔は相當あるこうしたなあ、今でもまだ時々ありますが、妻子子供を國へ殘しといて外國へ出りや三千五千の金は譯なく儲かるつもりで出てきなさるんですが、おあいにくさま、ブラジルはその手がサツパリ通用しません、第一お金が安いもんですから日本へ持つて歸らふとなると、四分の一か五分の一に目減りがしやうといふのだから始末が惡ふどわすなあ、これが北米のやうにお金が高くて、稼いだお金が日本へ持つて行くと、三倍にも四倍にもなるのだと、一寸待つて居なさい儲けたら直ぐ歸つてくるからの手も利きますがブラジルドやロツアリヤでも當らねえ限り、そいつは絶對にきいませんなあ、ですから女房子供を殘して一獨千金を夢みて渡航した、ヒゲの生えた

予松君三年

たつてもまだ見えねえ、五年たつてもまだ見えねえ、十年たつてもまだ見えねえ、とう〳〵何時の間にやら十五年二十年たつちやつた、俺も白髮になつて老ひさらばへたが、女房の奴もさぞかし婆さんになつたらふなあ、罪なことをしたがこれも

前世の約束

車か知れねえ、まあ諦めてくんな、外國人に聞かしたら判廣備にられないやうな悲劇が日本人間にはあるのだからやり切れませんやや、昔から夫婦は一體とか申しましてねえ、何所へ行くのだつて、必ず一緒でなくちやなりませんよ、といつが分かれて居ると、どうせ碌なことはどわせんなあ、男は行く先々で結構用は足せますし、弱にサンバウロのやうな所でなら、當面は金せえありゃ妾手かけをおくのは譯やどわせんが、國に殘された女房は叶はせんなあ、三年たつてもまだ見えぬ、五年たつてもまだ見えぬ、とうとう變な後家みたいなことで年取つてしまうのだからたまりませんやや、よくお役人だの會社だのが、子供の教育のためだのとか云つて、家族を殘して獨りでやつて來てなさる方がどわすが、こりや例外でしてなあ、玆で仕事をなさらふといふ方は是が非でも

女房をれ

てこんことにや詰になりません、日本は鳥事がケチに出來てますから、お役人や會社員の海外出張に、女房の旅費を出すところなんて滅多にありませんなあ、尤も女房なんぞを連れさせられちや

旅で道樂が

出來ぬといふのが內地の常識ですが、少くとも海外じやそういつは通りませんわ、ところが日本人の女といふのが總じて海外向にや出來てませんでなあ、つれて出ると鬼角足手まとひになることが多うどわすから、ワイ億劫になつて、エ、面倒臭い家で留守番してろといふことになります、だが引張り出せばどうにかなるもんですよ、そいつを心ならずもおつて・・・・・きぼりを喰はして、あたら若後家で暮させるなあ可哀相じやどわせんか、罪ですよ

十指十目

みなこれに集るは使つて見て至極重寶で丈夫だからです

改良最新式

棉抜根器 一ケ一〇ミル

エンサツカドール 一ケ四〇ミル

はサンヂ式との定評が何よりの證據抜群の名聲を博して居ります

▼御注文は各地商店又は直接 日伯社營業部

募集 女事務員 數名
多少葡語の解る方、要履歷書
文撰二名
植字一名
高給を支拂ふ、面談のこと
日伯新聞社

流行る 流行る
晉丸の
戰場吹雪 ほど
素晴らしい
流行歌は一才そこらには見當りませんよ
何しろ作曲者は
古關裕而ですから……
レコード番號二九九七〇
Columbia
ドーンレアビムロコ

戰雲逼迫に備へ 米、原料品購入か

【ワシントン廿一日廿】ベンシルヴアニア選出民主黨議員は廿一日上院軍事委員會に今後起り得べき戰爭を豫想して主としてマンガン、錫、クロム、水銀の軍需原料品購入の方法を示したものでその第一は直接購入、第二米國產農產物との交換、第三戰債の支拂ひ分を物資で償ふものであつた、同案は右原料品德得の三つのうちの部隊の部隊の購入期間は四ケ年に亘り各年の割當は年々陸軍省で決定す

西北行營主任 程潛遂に爆死

重慶政府、隱蔽に必死

【漢口二十一日同盟】確報に接近し重慶政府當局ではこれを西北行營主任程潛は我れにより意氣阻喪と國民の動搖の虞を恐れ一切厳秘に附し專ら治療中だつたが二十日遂に死亡した、程潛の死で西北の動向は目下と言はれる

皇軍猛攻の火蓋

修水河を一氣に突破
頑敵粉碎疾風の進擊
城下、黄庄安、鳳澄山を占領

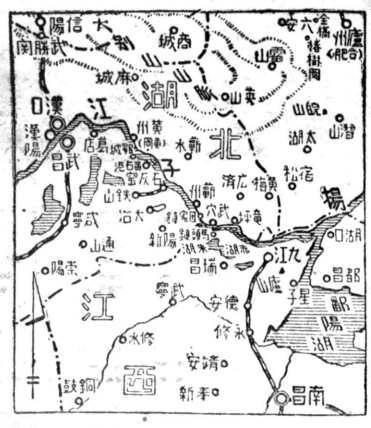
（虎山にて廿一日同盟）飯野部隊は二十日午後七時三十八分修水渡河に成功、雪崩を打つて敵第一線陣地城下に突入、敵が抗戰する暇もなく第二線黄庄安も猛功、同八時十分〇〇を占領、一方修水河を突破した貴島部隊は修水上流の堅陣鳳澄山を占領、潰走する敵を急追、同八時十分修水對岸の要衝〇〇を占領した

【漢口廿一日同盟】中支軍發表、昨年十月下旬德安附近より敗退した敵は修水南岸地區に後退し河線により堅固なる陣地を構築し番陽湖修水河口より西方約二百キロに至る沿線及び東方八十キロに亘る膨大陣地に十數個師を配してゐたが、殲滅戰開始命令に接し決死的協力と共に若溪西方地域に於ける敵主陣地を、又その他の部隊は四日夕刻より增援道路を冒し進軍する將兵の努力は言語に絶するものありしも遂に困難を克服せり、三月中旬より準備完了し歩武を整へ十八日の春雨を冒し主力各所に强敵と白兵戰を演じつつあり、我が快速部隊は既に〇〇方面に進出敵を追擊中なり、戰場一帶は目下降雨止まざるも我が軍の士氣は旺盛を極めてゐる

折柄の晴間なき霖雨と泥濘の中に〇〇を占領し、河岸直接防備の敵主力陣地帶突破、敵を急迫中にして二十一日夕刻には既に攻擊開始地點より十三キロの前方に進出し

【水滿漲の修水急流を渡河、河岸の敵陣を木葉微塵に吹飛ばせば火焔は天に冲し凄壯言語絶する、約三時間に亘る此の猛烈なる掩護砲擊下に歩兵部隊は潮の如く河岸を畔道傳ひに前進したが、敵は我が猛擊に制壓されたかいつもの亂擊もない、午後七時十五分頃支軍第一線の河岸に濠々たる煙幕が流れたと思ふと、見る〜中に一里余りも修水河を包んでしまふ、午後七時半もの左の通り

中將　久村種樹、佐竹保治郎
中川太輔、小泉恭次、田村元一
獸醫中將　柏五郎



【修水河畔虎山にて廿二日同盟】春雨煙る廿日午後四時半を期し、起伏せる丘陵の影から四ヶ月半に亘り膠着狀態を續けてゐた修水第一線の我が砲兵陣地から猛擊が開始され、柔種の花咲き亂れる修水河畔に絶する、約三時間に亘る此

成功したり敵前渡河
中空に輝く綠色信號
凱歌は高し皇軍戰果

【修水河畔一日同盟】皇軍の渡河開始によつて久しく對峙をつゞけてゐた修水戰線は一大進展を見るに至つたが、この方面に於ける敵配備は周到を極め鐵壁を誇る幾多の陣地には次の諸部隊が配置されてゐる、即ち修水河に沿ふ地區の防戰四、五百メートルの峻嶮なる九嶺山脈の天嶮を利し、修水河を第一線陣地となし、難攻不落を誇る堅陣を布き第十九師團を主力とする第一線に備へ、第三十一軍々長王敬久をそれ〜〇〇西方並に西南方地區の防戰に當らしめ、修水、銅湖方面に夏首勛の指揮する一隊が配置され必死の抵抗を續けてゐる

【修水河畔一日同盟】皇軍の渡河開始によつて久しく對峙をつゞけてゐた修水戰線は一大進展を見るに至つたが、この方面に於ける敵配備は周到を極め鐵壁を誇る幾多の陣地には次の諸部隊が配置されてゐる、即ち修水河に沿ふ地區の防戰四、五百メートルの峻嶮なる九嶺山脈の天嶮を利し、修水河を第一線陣地となし、難攻不落を誇る堅陣を布き第十九師團

お役目果してオズワルド外相けふ歸還

凱旋將軍のような歡迎陣

約一ケ月の會談に所期の目的通りの成果を修めオズワルド外相は愈よ今日午前九時アルゼンチナ號でリオに入港する、リオ市民は官民擧げて大歡迎すべく約一週間前より準備を整へてゐたが、當日アルゼンチナ號入港と同時に海軍飛行隊は編隊で船上に歡迎の熱をうならせ、商工業各種團體代表者は蹠々バルコを仕立てゝ出迎へる

米獨商戰開始の曉

ブルジルは漁夫の利

米棉の代りに伯棉進出

獨乙のチエコ併合によつて米獨間の感情惡化はクライマックスに達し、米國政府は獨乙のチエコ併合不承認の通告を送ると同時に、來る四月廿三日以降獨乙品に對し禁止的な高關稅を課し、その輸入を阻止することになつた、之に對して獨乙側とても默つてゐる筈がなく報復的に米棉その他米國產品の輸入を禁止、こゝに愈よ米獨商戰は實彈こめた戰爭より一足お先にその死闘の火蓋を切る段取りとなる譯だが、この米獨商戰開始で漁夫の利を占めるのは恐らくブラジルだらうと米國側は睨んでゐる

獨乙は昨一ヶ三八年度アメリカから九千廿萬封度（大約十八万俵）に達する巨額の棉花を輸入したが米獨通商斷絶ともなれば獨乙は米國以外から埋め合せる事となり、その結果は當然伯棉の輸入增加となることは確かだと云ふのである

笠戸丸より昨年まで移民さんを縣別に見る

熊本の一九、四七三名

筆頭は……

明治四十一年第一回笠戸丸渡つて來たかといふと、三府四十三縣に北海道を併せ總勢移民七百九十七名が本邦ブラジル移民史に不朽の第一頁を劃してより昨十三年までの三十一年間に一體どれだけの同胞が遙々ブラジルに押し渡つて來たかといふと、三府四十三縣に北海道を併せ總勢「十八萬七百三十九名」これ七名が本邦ブラジル移民史に不朽の第一頁を劃してより昨十三年までの三十一年間に一體どれだけ

「十八萬七百三十九名」これを縣別に見ると何といつても倭寇の昔より海外雄飛の大志に燃える九州地方が斷然他を壓し熊本縣の一萬九千四百七十三名を筆頭に福岡縣の一萬五千八百二十三名、沖縄縣の一萬三千百三十五名と一、二、三位を占め次いで廣島、北海道といふ順、最下位は千葉縣の六百五十八名となつてゐる、左表は縣別渡伯數

熊本　一九、四七三

福岡	一五、八二三
沖縄	一三、一三五
廣島	一二、四八一
北海道	一二、四〇一
鹿島	九、七八〇
岡山	五、六五〇
山口	五、六三三
鹿兒島	四、二九一
高知	四、五八五
和歌山	四、二一一
大阪	四、〇九五
愛媛	三、八〇七
靜岡	三、六一九
長野	三、五二六
山形	三、五一六
佐賀	三、五〇七
愛知	三、四一六
宮城	三、四〇八
東京	二、五五五
長崎	二、四五二
香川	二、四五一
岩手	二、二一五
兵庫	一、八五五
秋田	一、〇六〇
群馬	一、〇一〇
新潟	九、三九一
大分	八、三七七
茨城	八、三七〇
三重	七、七七五
宮崎	六、六六一
鳥取	六、四七九
石川	三、八四八
鳥根	三、四三一
岐阜	三、〇四四
富山	二、九五五
京都	二、〇七八
德島	一、〇五六

問題のビネイロス校

不體裁な外廓

奥地では學校を經營したくても嚴しい法規に縛られて開校出來ず子弟の教育を從前通り續續して行かうかと惱んでゐる折柄、聖市ビネイロスでは大手を振つて開校出來るのに經費問題を繞つて日會と後援會が對立、紛糾當ブランといふ奥地の人が聞いたら馬鹿々々しくも勿體ない話し……問題のビネイロス校は起工以來滿一年五ケ月の日子を費しながらも寫眞の通り外廓の仕上も垣も出來上らず頗る不體裁な外觀を剛してゐる、第二世教育の搖籃たる學校があの仕末では困つたものだと識者は憂慮してゐる

現行定款を改正し

農業貸付範圍を擴大

伯銀臨時總會

バンコ・ド・ブラジルでは昨年十二月廿九日聯邦令一・〇〇二號を以て公布された農業者救濟法令による擔保證券發行には現行定款に改訂を要するので、來る廿八日臨時總會を開き定款改正を決議することゝなつた

飛出した運ちやん

少年チームと對戰

あつさりと抑えて少年軍快勝

本社主催第三回全伯少年野球大會は愈よ來る六月華々しく開催されるが、これに先立つて戰雲はまづ全伯七地方豫選大會の上に棚引き、少年たちの小さい胸に感激の渦を捲起さんとしてゐる、この第一雛鳥地方豫選大會は五月に入るや早々火蓋を切るが、北パラナ地方ではオウリニョス市で行はれる豫選を目指し日夜猛練習中で殊にロンドリーナ區では晴れの檜舞台を飾る六月廿一日に開催されるが、これに先立つて戰雲はまづ全伯七地方豫選大會の上に棚引き、少年たちの小さい胸に感激の渦を捲起さんとしてゐる、この第一雛鳥地方豫選大會は五月に入るや早々火蓋を切るが、北パラナ地方ではオウリニョス市で行はれる豫選を目指し日夜猛練習中で殊にロンドリーナ區では晴れの檜舞台を飾る六月廿一日に開催されるが、これに先立つて戰雲はまづ全伯七地方豫選大會の上に棚引き、少年たちの小さい胸に感激の渦を捲起さんとしてゐるが、この試合は去る十九日の午後二時から行はれたが、觀衆の投手は自動車屋の丹君、捕手メカニコの山尾君一壘赤津雜貨店主、二壘村木パン屋主、三壘淺田雜貨店主、遊撃濱木靴店主、左翼小木曾デンチスタ、中堅大西マルセネイロ、右翼小林麻雀屋さんと云ふ珍メンバーだが、昔とつた杵づかとあつて超ハリ切り

を見せたが、小まめに動く少年軍に全くホンローされて遂に十六對十四で少年の軍門に降つた

これに力を得た少年軍は愈よ本格的のコーチを受け區豫選は勿論オウリニョス大會には必ず優勝して全伯に出場すると非常な意氣込みである、一方オヤヂ軍もこれを切として老童チームを結成して全パラナをその足下に收めるべく近く猛練習を開始すると

少年＝5 1 4　0 0 4　2＝16
翼＝0 1 0　3 3 1　6＝14

（少）石川久山岡堂光西弟口谷坂
（投）赤荒川栗西萩森大西山嶋赤
（捕）二二三遊左中右補同同

在伯邦人の出品鷄が

見事、最高位賞獲得

家禽協會產卵競技會……

母國の……

ブラジルに於ける養鷄業は最近著しい進歩發展を遂げつゝあるが、中央線ビンダ市在住小田耕作氏は去る昭和十二年二月一時歸國した際同氏所有の白色レグホン種二十四羽のうち十八羽を中央家禽協會附屬の家禽研究所へ產卵檢定を依頼しその妹鷄六羽を持參して同年九月歸伯したことは既報通り產卵箇數三二九個、產卵能力得點八六、〇四五點であるが、その際依頼した白色レグホンが產卵繁殖成績檢定の結果第一位、第四位、第十位に入賞全部最高位の程同氏の許へ齎らされた、同一人の出品鷄が三羽も揃つて堂々入賞するといふことは中央家禽協會檢定始まつて以來の出來ごとゝして日本の各種雜誌は掲載、在伯邦人のために萬丈の氣を吐いてゐる因に同氏出品鷄の成績は左の通りである

產卵箇數三二九
產卵重量一八、〇二九五七、產卵能力得點八六、〇四五點

▲一位入賞鷄
產卵箇數　三二九
產卵重量　一八、〇二九五七
體形得點　九
體形能力得點　八三、三三七

▲四位入賞鷄
產卵ケ數　一七、〇四三五九
產卵重量　七、一四五
產卵能力得點　七、一四五

▲第十位入賞鷄
產卵箇數　三二八
產卵重量　一六、三三五九
產卵能力得點　七、三七二

儲かるか水商賣

町では料亭、山ではウドン屋

奥地商店界覗記（8）

あれやこれや、みせさきをのぞく

つちやんが聖市の料亭に伺候しても「ドーモ底板がかたくてね」と隔靴搔痒の感ありとのことで、一そ鏡の間であるとか、中央光線に當りやつと御氣に召したと云ふが、プロミツソンにあつた料亭上海は戰ひ利あらず、遂に陷落した、どい紫外光線の山のお

商賣道より見れば底板云々よりは大衆性を失つたことがその一因と思はれる、これは產業組合の賣店が組合員だけを目標にして賣る、といふ危險性以上に特殊階級をねらひすぎたゝめで、聖市やマリリヤなら立つやらうが、田舍の料亭では、そば、うどんなどを自由に食ひに入れる樣にむしろうどんや、そばやを主體にして娘の子に給仕をさせる式に劣へないと商賣にならぬらしい、マア聖市とマリリア位は料亭の存續性があるがノロ銀などでは餘程劣へないと特殊階級對手の商賣はケープラすることです

×××

アラサツーバの田村、グアラペスの內村、東、喜樂、リンスの二八や、鶴瓢などは家族連れでもやれる所に大衆性があるわけで、チエテの松本屋、中西武官堂の某料亭の一號室で拜見したが、時なる哉日本語教育禁壓の非常時に、この偏額の下で純日本料理、日本娘の酌、日本の歌と來ては總領事館內で飲んでゐる樣なイイ氣持が仕つた次第、文敎普及會のヨカ商賣はこれ〈

救世軍大將

ヒギンス夫妻來伯

救世軍總大將ヒギンス夫妻來伯し救世軍大會を開くことゝなつたが、各地の大會プログラムは次の通り

△聖市　四月十九日午後八時
△エルベチカ街七七二サロン
△同上　四月廿日午後八時半
英國人倶樂部サロン
△サントス市　四月廿一日午後八時パブテスト教會

時代の要求する
經濟的な
アポロインキ
粉末

國防獻金

一千家族の同胞を擁し棉にパタチンニヤに眼賣な農道を歩んでゐる奥ソロ地方では國防獻金に軍患擬金に日々精進を續けてゐるが、プルデンテ驛ピアソン植民地在住者一同は金四百四十五ミルを又プルデンテ聯合青年會でも三月十四日第一回軍患機獻金として二コント五百三ミルを又去る十八日にはプルデンテ青年會として第二回分二百二十三ミルを夫々ブラ拓銀行を經て銃後青年會へ送金、奥ソロ邦人集團地の赤誠を示した

流浪

◆…プルデンテ驛奥某新植民地近くに住む某邦人、自分の近所に學校を造るつもりで寄附金集めに行つた處、その植民地には既に日本人の學校があり寄附を斷られたのでその腹いせに外人カマラーダを使つてプルデンテの視學に訴へさせた、幸ひ視學が日本人に理解をもつてゐたゝめ單に注意されたゞけで解決したが邦人同志のかゝる仕打に心ある人々は苦々しく思つてゐる

◆…結婚式を間近に控へて領事館へ結婚屆書を貰ひに行つた一青年、受付係の劍もホロロな挨拶に張切つてゐた血潮が爆發「この野郎虎の威を藉る狐め」と鐵拳の鄕見舞、この心臟の强い張切りボーイ、領事館の門を出てから曰く「あのニキビ面奴、きつと嫉いてゐやがるんだ」……と

◆…ランシヤリア町でパストス旅館を經營してゐた人氣男藏力哲夫氏は從來の建物がブラ拓銀行になつたので、今度ホテル・セントラールを引受け增築、その名も鄕かしきホテル・グロリアと改稱して去る十一日から開館ソロ線第一の旅館として客足繁し

◆…智利產石膏及會の平野實君は奥地宣傳のためふ聖市發バウル、リンス、マリ、ア、パストス、プルデンテ方面へ出張するからどうぞよろしくと

◆…ナチ獨乙の鮮かな行動には敵も味方もおつ魂げてゐるがリトアニヤ政府は獨乙の五日間期限付の最後通牒に五日どころかタツタ一日で恐入り降參、ラヂオでメーメルを獨乙に返還の旨放送した、リトアニヤ人と云へば聖市で靴磨きなど澤山來てゐる

◆…所もあらうに聖市中央裁判所の屋根上で二羽の鳥がしきりにエロを滿喫してゐた、これを眺めてゐた某白衣のお佛方怒ふく自動車に轢かれるところだつた

◆…南米陸上大會ブラジル賛選に出場する南大河州代表四名は去る廿日イタイテ號で來聖した

◆…尙武の氣風、各地に漲汗として興る！チエテ移住地中央區では日本精神鼓吹のため柔劍道を青少年に奬勵すべく計畫中であつたが今回文敎普及會より四組の少年用劍道具が到着したので愈々去る十九日より掛聲も勇ましく激刺と猛練習を開始した、次の時代を背負ふ少年達よ、頑張れ！

◆…智利震災難民への救護品を滿載した伯國船プルデンテモラエス號はブンタアレナスで坐礁、ミイラ取りがミイラになつた恰好だが同地の稅關吏數名は之を奇貨とし品物を盜み出したのでこの人非人と土地人から袋叩きにされたと

◆…先程店開きした貿易會旋所では今日午後七時よりオウトモベル・クルブへ內外人有志を招待披露安を伺すと

HOTEL GLORIA
RANCHARIA - E.F.S.

移轉改名御披露

謹啓　各位愈々御清適之段大慶の至りに存じます
陳者永年來多大の御愛顧を賜り居りましたパストス旅館事今般同家屋ブラ拓銀行と相成りました爲營業中のホテル・セントラールを讓り受け增築その名も輝かしき

ホテル・グロリア

と改名室內の諸設備萬端大改善を加へ室數三十有餘、その完全な設備と行屆いた取扱ひの下に去三月十一日より開館致して居ります
驛間は自動車にて御送迎の便を計り其の他萬遺漏なき奉仕は、成程これはとおよろこびを戴き移轉早々名實共にソロ線第一の名を辱うし感銘致して居ります。尙層一層の努力を以て御愛顧に報ひ度く、何卒今後共舊に倍し御引立の程を偏に願上ます
先は右移轉改名御挨拶迄　敬白

ホテル・グロリア
醫パストス旅館主　藏力哲夫
ソロカバナ線ランシヤリア驛　郵函二十五番

買替
伯英　廿二日
伯米　一、一〇〇
伯日　四、六〇

▼アロース　買値
▼アグーリヤ（袋）
▼同（ボン）
▼フエジョン
▼ムラチーニヨ
▼同（ボン）
▼ミーリヨ
▼アマレリンニヨ
▼アマレロン
▼バタタ
▼スペリオール
▼ボン
▼砂糖（ペンヤ）
▼小麥粉
▼バーニヤ（箱）
▼マモーナ
▼カフエー（四級品）
▼アルゴドン
▼野菜部（蔬菜部調）
▼トマテ（箱）
▼レポーリヨ（袋）
▼エルヴイリヤ（箱）
▼ピメントン（箱）
▼バージエン（箱）
▼ペピーノ（箱）
▼バタ、ドーセ（俵）
▼ポプリーニヤ（箱）
▼セノーラ（束）
▼ベリンゼラ
▼セノーラ（箱）
▼玉子（打）

廿二日
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇
一、〇〇〇

大阪商船
發着廣告

日本へ
北米經由　ぶえのすあいれす丸　三月廿六日發　横濱着　五月廿三日
南阿經由　あふりか丸　神戸發　四月六日　神戸着　五月廿二日
ケープタウン　さんとす丸　神戸發　二月廿六日　四月廿三日
ベノスアイレス　あふりか丸　神戸發　一月廿二日　四月四日
サントス　伯剌西爾大阪商船會社
(Soc. de Navegação Osaka do Brasil Ltda)
Rua Cilado do Toledo, 31 Santos
聖市　伯剌西爾大阪商船會社出張所
(Soc. de Nav. Osaka do Brasil Ltda.)
Filial de São Paulo
Rua da Quitanda, 82 São Paulo
Wilson Sons & Co. Ltd. Avenida Rio Branco, 37
詳細は代理店又は弊社へ問合下記

飜譯と法律事務
カルロス・デ・モラエス・アンドラーデ
ジョアキン・シルバ
・ゾートラ
聖市ベンヂヤミン・コンスタンチン三階、三號室
公證顧譯人
杉山英雄
Caixa Postal 2975
一般法律事務に就ての通譯、葡、西、伊、獨、佛、英及ラテン語顧譯

貸室あります
貸カーマ
ペンソンもいたします
イキヨイ食堂
聖市ビネイロス區カルデアルアルコベルデ街六四三

社告
マリリア　金子住夫
アラサツーバ　安藤國雄
アララクアラ方面　鈴木典
リンス方面　手島明己
聖市郊外　清地幸雄
サントス　大谷龍水
ジユキア線　小畑秀雄
右各出張員を出張致せて居ります、諸賢の御配慮を願上ます
日伯社營業部

求コペイラ
十五歳より三十歳位迄の葡語を解する女子、名至急入用
當方上流家庭、高給支給
面談は左記へ
CASA AUSONIA
Rua São Bento, 272

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXV — São Paulo — 5.a feira, 23 de Março de 1939 — Num. 1.662

Tokio e a annexação da Tchecoslovaquia

O embaixador allemão visitou o ministro Arita

Tokio, 16 - Domei — O sr. Otto, embaixador da Allemanha no Nippon visitou, no ministerio do Exterior, o sr. Arita, ministro das Relações Estrangeiras. A visita teve por fim communicar ao titular do "Gaimushô", o accordo teuto-tcheque publicado hontem em Berlim. O embaixador allemão explicou o communicado, fornecendo informes e pedindo o reconhecimento do Nippon.

O governo Imperial, em vista de não ter recebido nenhum communicado official dos seus repsesentantes no exterior, não decidiu ainda sua attitude em relação ás relações teuto-tcheqeo. No entanto, logo que se informar devidamente, tomará medidas amigaveis para com a Allemanha.

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA

DIRECTOR Masaaki Udihara — GERENTE Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 1109
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas
PARA O BRASIL
Por anno ..... 60$000
Por semestre ..... 30$000
PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 120$000

Annuncios
Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha

15 MILHÕES DE YENS

Para a restauração da Asia Oriental

Medidas para a tranquillidade de 400 milhões de chinezes

Tokio, 18 - Domei — Debate-se, actualmente, na Camara dos Representantes, o projecto de lei concedendo uma subvenção de 15.000.000 de yens, para ser applicada na restauração cultural do Extremo Oriente. Desse projecto, estão merecendo especial attenção as seguintes partes:

8.000.000 de yens para as actividades da Sociedade de Beneficiencia; 10.000 yens para a elevação do Instituto Literario da Asia Oriental á categoria de Escola Superior e para suas despesas ordinarias; e 2.000.000 de yens para a construcção de um novo intituto para os estudos referentes ao augmento da producção.

As actividades das sociedades beneficientes visam augmentar e melhorar grandemente os trabalhos que até agora estavam sob a direcção do departamento cultural da China, annexo ao ministerio das Relações Exteriores. Para isso, essa secção do Departamento de Restauração da Asia construirá hospitaes em varias cidades e tornará mais faceis e efficientes os soccorros medicos.

Tudo isso significa que os poderes imperiaes estão empenhados em defender os 400 milhões de chinezes das terriveis molestias que infestam o seu grande territorio e assegurar-lhes uma vida tranquilla e progressiva.

Quanto ao Instituto Literario da Asia, o Departamento de Restauração pretende eleval-o á categoria de uma escola superior commum, dando especial importancia á secção de estudos economicos. Será construido um predio apropriado com todas as installações necessarias para um estabelecimento de ensino superior. Para essas despesas a verba orçada é de 280.000 yens, sendo de 730.000 a importancia destinada a manter os cursos regulares. Os poderes imperiaes têm esperança na grande influencia que exercerão, futuramente, os trabalhos desta casa de ensino superior no desenvolvimento economico-financeiro da China.

Vem em seguida a verba de 2.000.000 de yens destinada ao estabelecimento dos Institutos de pesquisas referentes ao desenvolvimento da producção. Estes institutos serão estabelecidos, um em Pekin e outro em Shanghai. As pesquisas serão feitas visando principalmente o incentivo da producção agricola do continente, abrangendo varios campos.

O Departamento de Restauração da Asia, pretende esforçar-se o quanto estiver nas suas possibilidades, para o mais depressa possivel ver reinar na Asia do Oriente uma atmosphera cheia de paz e ordem.

O embaixador do Japão

Visitará São Paulo, officialmente, na proxima semana

RIO, 20 — Em carro especial, ligado ao nocturno paulista, deve seguir, domingo proximo, para essa capital, o Embaixador do Japão, sr. Kuwazima.

E' a primeira visita que o novo representante japonez junto ao governo brasileiro faz a S. Paulo, e se revestirá de caracter official. Segundo estamos informados, o illustre diplomata oriental demorar-se-á alguns dias em terras paulistas e, depois de se avistar com o interventor Adhemar de Barros, realisará algumas visitas aos nucleos coloniaes japonezes.

A fundação da Companhia de Estradas de Ferro da China Central

TOKIO, 17 (Domei)—Os preparativos para a fundação da Companhia de Estradas de Ferro da China Central, cuja inauguração dar-se-á juntamente com a da empreza congenere da China do Norte, estão sendo adiantados, rapidamente, esperando-se mesmo a fundação destas duas emprezas já para o abril proximo vindouro.

A companhia terá um capital de 50 milhões de yens, contribuindo o governo provisorio com 20 milhões de yens.

A empreza Restauradora da China Central fornecerá 20 milhões de yens e as diversas emprezas ferroviarias nipponicas participarão com 10 milhões de yens.

Melhoram as relações commerciaes entre o Japão e a França

Tokio, 18 — As medidas temporarias melhoraram as relações commerciaes entre o Japão e a França, pelo menos durante a conclusão do accordo commercial amigavel para o qual as negociações estão em andamento. Os entendimentos fundamentaes parece terem chegado a um accordo entre os dois paizes, em vista dos quaes Japão e França se esforçarão para importar os artigos de cada lado, quanto mais possivel, sob o principio de compensação commercial. As negociações de commercio resultaram num impasse, no fim do anno passado, devido ás divergencias de pontos de vista entre os dois paizes.

Na tentativa de remover o impasse nas negociações fizeram-se concessões pelas quaes o Japão augmentará a importação de machinismo, phosphato e saes e outros artigos, emquanto a França continuará a distribuir justa quota para os artigos japonezes, inclusive as as conservas de peixe. As negociações para o accordo commercial amigavel serão continuadas.

Falleceu o deputado Niyazawa

TOKIO, 14 -- (Domei)—Falleceu hoje, repentinamente, num ataque de apoplexia cerebral, o snr. Seisaku Miyazawa, influente politico e deputado do partido Seiyukai, pela provincia de Miyagui.

O extincto contava 61 annos de idade.

Cartas do Extremo Oriente

A comparação accusa...

A anarchia do ensino chinez — A evolução do systema educacional no Mandchukuo

Cont. *(Do nosso enviado especial)*

A sua fundação data de julho de 1932, isto é, logo depois da proclamação da independencia mandchú, podendo se deduzir desse facto a inadiavel necessidade de formar funccionarios publicos capazes de se adaptarem ao novo regime, reinante naquella época.

Esta instituição é a unica que está sob o controle do Departamento dos Negocios Geraes, do Conselho do Estado. Alli se admittem não só funccionarios publicos, mas tambem os graduados pelas escolas superiores. A Academia está dividida em duas secções, sendo uma destinada para mandchús e a outra para nipponicos.

Além dos necessarios cursos de sciencias politica, economica, geographica e historica, a Academia proporciona aos estudantes numerosas viagens. Emquanto os estudantes mandchús viajam pelo Nippon, os filhos deste procuram o interior do Mandchukuo. Uma vez que o Estado tem necessidade urgente de bons funccionarios, o curso desta Academia é de seis mezes, mas seis mezes de regime exclusivamente applicados aos estudos.

Os graduados pela Academia de Tatung ou voltam aos seus cargos effectivos na administração de Estado, ou são nomeados para um posto de responsabilidade nas regiões menos civilizadas do paiz. A sua missão neste ultimo caso é de proporcionar uma vida de paz e ordem ás remotas localidades para onde são designados, realizando alli uma administração baseada no principio *Wangtao*. Não é pequeno o numero daquelles que falleceram atacados pelos bandidos chinezes que infestam ainda essas localidades do interior mandchú, no cumprimento do seu dever. Como heroes, os seus nomes ficarão assignalados e eternamente, na historia da fundação do Imperio mandchú.

Universidade Nacional - Como a Academia de Tatung, a Universidade Nacional é um estabelecimento de ensino *sui generis*. Fundada em Maio de 1938, com o objectivo de propagar o espirito da fundação do Mandchukuo, o grande instituto de Hsinking constitue a fonte de homens capazes de elevar o nivel moral e o padrão da vida nacional. E' seu administrador o primeiro ministro de Estado. Todas as despesas desta Universidade, inclusive as taxas e pensões dos estudantes, correm por conta do governo.

(Continua)

Um gesto nobre dos Estados Unidos

TOKIO, 18 (Domei)— O cruzador norte-americano "Astoria", que transporta o corpo do ex-embaixador do Nippon nos Estados Unidos, sr. Saito, deverá chegar a Yokohama no proximo dia 17 de Abril. Ao que parece, o Nippon enviará tambem um vaso de guerra para receber o cruzador americano, manifestando desse modo a sua gratidão pelo nobre gesto do governo de Washington.

A proposito, o sr. Kanazawa, presidente da Commissão Militar, fez a seguinte declaração:

" — Sentimo-nos profundamente gratos e commovidos pelo gesto fidalgo, sem precedentes, dos Estados Unidos. E' a manifestação clara do seu espirito de amizade para com o Nippon.

Fazemos votos que este facto sirva de chave para a approximação nippo-americana".

血汐曼陀羅

(講上身 映画化) 橋爪彦七 木俣茂彌畫

【77】

邪戀の譜（八）

「おゝ、どうなされたのでございます？ まるで布團の外にのり出して——」

と、萩江が動はるやうに云つてくるのを、

「なに、いま、はばかりをもよほしたので、立たうとしたはづみにこの通り、はは、は……埒もない、まるで骨抜け同然の體で」

と、思ひ切つて立ち上つたはどうにもならず、危くどつと障子際にまで踉めくのを、

「あれ——」

と、萩江が抱きとめた。

「なに、大丈夫」としづかに女の手を拂つた。

（妖婦！）

と心で憤りを覺えながら

その時、ぱたゞと腰元の足音がして、

「御後室さま——」

廊下に膝を支いてゐる様子

「なんでい？」

萩江が振りかへると、

「お客様でございますが…」

「さう」

と、答へた萩江の眼から、瞬間的な妖笑が漂れたのを、ちらつと眞十郎は見て取つて

「御後室、どうかこちらにかまはず……」

「では……」

「僅な躊躇を見せはしたが、

「靜かに、行つていらつしやいませ」

と、言葉を殘して去つてしまつた。

（今だ！）

眞十郎は、全身が心臓になつた様に氣が逸る。

（客——と云つたのはおそらく淡屋であるかも知れない。

さがこみあげてくる。

（逃げよう……）

咄嗟に思案して、母屋の様子に氣を配りながら、廊下の板敷きに出ると雨戸の桟に手をかけた。

腹に力が無くて、足が、腰が、意氣地なくよろめきさうになるのを一心に踏みしめると、無論平常とちがつた弱々しさが、全身に感じられた。

（これでは……）

と、必死に音のせぬ様に雨戸を繰る。

……寸……一寸。

いまの眞十郎には、戸を引き明けるだけでも、大した仕事だつた。やうやく體が抜けられるだけを開けて、敷居を跨ぐと中心を失ひかける體を精一杯の腕の力で支へて、しづかに……徐かに庭さきに足をおろした。

あふげば空は、月の出はまだらしく降るような星月夜、初夏の夜がひんやりと身に沁みる。

「旦那、早く——」

と、それは忍んでゐた逃げ水喜助の慌たゞしい聲だ。

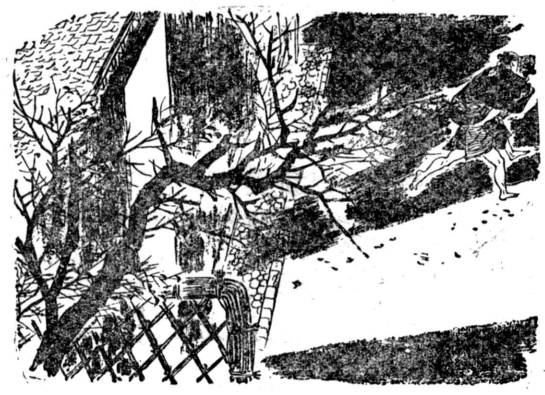
「おゝ」

眞十郎は思はず喜助の向けてゐる背につかまつて、

「黙ない」

「叱ッ、黙つて——」

たと、喜助は眞十郎を背負ふて、一散に庭の木立に紛れこんだ。すぐ開けておいた切戸口をくゞる。眞に通り魔の様な素速さで……。



さうだとすると……？ 正面から堂々と敵として現れるかそれとも奇計で自分を亡なはうとするか、何れにしても……）

と、ふと床の間に瞬を遣ると、無い！

たしかに、午どろまではあの床の間——に自分と一緒に運ばれて來た大小があつたのだが。

いや、眼をやるとそれが無いのだ。

（しまつた！）

考へたとて後のまつり、たしかに何處かへ隠されてゐるのだ。

（不覺なッ！）

と、涙の滲むほどな口惜し

三二九卵系
白レグの副業
検定（自昭和十二年十月一日至十三年九月卅日）三百一十九卵
東京中央家禽協會產卵檢定所發表

Confeitaria Guanabara
R. Julio Conceição, 144 - Santos
▼和洋菓子販賣
▼見習 二、三名
▼身體强健な資質なる人數名
募集優遇致します
詳細は上記へ面談の上
根路銘安吉

外交員募集
外交員二、三名
見習 二、三名
身體强健な資質なる人數名
募集優遇致します
詳細は上記へ面談の上
根路銘安吉

尋人
鹿兒島縣人
奥末太郎
本人又は御心當りの方は左記迄御一報被下度
パウルー驛バロコン植民地
青迫
郵函五十六

急募
大工さん
五、六名
問合せは
聖市コンデ・デ・サルゼーダス一四九
建築請負業
大坪慶次郎

料亭 みどり（絲）
舟唄もなつかしの水郷
清流リベーラの舟遊びは
料亭 みどり（絲）
レヂストロ郷
聖市ヌエヴェ街七二番
電話 二二七六一

賣シヤカラ
場所 モジ・ダス・クルーゼス・カツベーラ街道（七キロ半）
總面積 五アルケール半
▽果樹植付濟 半アルケール
▽ユーカリツプ 一アルケール
▽開墾地 半アルケール
▽マツト 一アルケール半
▽他は萬作に適す
右好條件にて賣度し問合せはモヂダスクルーゼス コチア產組内 葛原浪雄

尋人
京都市人（二十六歳）
伊藤尋之
御存知の方は御可敷ながら右の者の居所一報願ひます
日伯支局氣付 太田

雇ひ度し
女中さん
十七、八才より四十才位までの獨身の方、優遇す
御希望者は……
日伯社支局へ

急募
洗濯屋
ラバドール及見習各二名
右御希望の方は御來談下さい
聖市アベニーダ・ボンベイア八三三
根岸

募集
十二、三才より十七、八才迄の少年又は少女募集いたします
ソルベッタリア
聖市ルイス・ガマ八八三

染抜手拭の御用は
日伯社營業部

アエリエル 千田
材料 寫眞

ドットル トレド・ビーザ 義雄
洗濯屋
ラバドール及見習各二名
右御希望の方は御來談下さい
聖市アベニーダ・ボンベイア八三三
根岸
大・小手術、婦人病科、生殖器病產科
日本人助手 宮下
◈診療所並びに住宅
リンス市オラボラツキ街六二〇番 電話一一五號

CARLOS CORRADINI
Rua São Caetano, 234
(antigo 42) São Paulo
ヨーロツパ直輸入極上質蔬菜花卉等の種子豐富荷、全て賣出以前に農務局の種々な試驗を經たもので發芽と成果の優秀な事は保證付
純種リオ・セボーラ・ペーラ
グランデの園藝用具、噴霧器、硫酸銅、殺蟻劑、肥料等一切
美麗なカタログを無料進呈、御注文はブラジルで一番大きな種子商の弊店へ！
カルロス・コラジニ

新しい種子

CASA RAMBALDI
家具及絨氈
客間、食堂用其他近代型家具寢具一切
……客間用極上絨氈……
日本人に一番信用ある店
本店 R. Liberdade, 472 Tel. 2-1424
支店 A ITALO BRASILEIRA
R. Quint. Bocayuva, 74 Tel. 2-7091

のスナービンカ
長戸旅館
Rua Costa Aguias. 422
CAMPINAS

果樹苗
聯邦農務省御用
聖州農務省御用
セントラル線モヂダス クルーゼス 郵函三四
本多果樹園

全アリアンサ產業組合一元化に依り四月一日以降の郵便物はミランドポリス驛を經由することになりましたから下記の通り願ます
ヴイラ・ノーバ
ノーバ・アリアンサ 郵函拾八番
第一
第二 アリアンサ 郵函貳番
第三
ミランドポリス驛
アリアンサ產業組合

亡四男智儀送葬に際しては御多忙中にも不拘御會葬被下尚且御鄭重なる花輪を賜り御厚情の段深謝奉候
一々拜趨御禮申述ぶべき筈の處、取込中乍失禮紙上を以て御禮迄如斯御座候
サントアマーロ區
父 里見猛 千代
親族 一 同